

ひでお行動

VOL. 1 3

<http://www.hideo-y.org/#top>
吉泉秀男の毎日の動きがわかります。
ホームページをご覧ください。

4月19日

今、新幹線東京行き最終「つばさ」でパソコンに向かっている。今日の行動整理しながら頭を悩ませている。今日の整理は

① 低炭素社会に向けた成長戦略についてU社長と意見交換、U社長の取り組んでいる内容は「電気自動車」使用部品を試作品づくりオーダー入るが、試作品はまだまだ改良しなければならない。その為に産学官連携したPT立ち上げて進めていく事ができないかどうか。そしてこの取り組みが成長戦略事業の対象にならないか。

宿題を預かる

② 変電所あり、高圧線、そして高圧電線つないでいる鉄塔。そこに公園を造る事が決定され、地元住民は「そんな場所になんで公園なの、」と・・・地元住民に知らされなくて一部の人達が進めたのか。意見もとめられ、市役所担当課に事情を話し説明もとめるが、4月人事で課長変わったばかり、公園造るまでの経過も含めて時間を貸してほしいとの事

③ 6月15日公示20日投票の地元庄内町議員選挙、擁立作業進まず。候補者

擁立にむけて今日も動く。どうしても我が陣営から最低4名は擁立しなければならない。5月連休明けまでは結果出さなければならない。

④ 廃止法案出されている雇用能力開発機構、我が県では民間による「基金訓練」開設要望に応える為に少ない職員が連日奮闘している。「ひきこもり青年」を一人でも多く職場復帰させていくためにもこの機構の役割は重要であるし、今日も私も相談受ける。雇用対策の要である機構無くしてはならない。

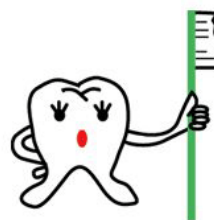
⑤ 建設に向けて進んでいる補助ダム「小国川穴あきダム」しかし「コンクリートから人へ」連立政権の中で「ダムあるべし」から「ダムによらない治水対策」が有識者会議で検討なされている。地元住民の大半はダム建設賛成である。補助ダムは県の判断である。国の施策と県の施策の一致点見出す為に地元社民党の対応が迫られている。今日も意見交換する。ダム反対と言えれば支持失う、大衆迎合なのか・・・それぞれの分野で何が出来るのか、突っ込んだ論議必要。

以上5項目課題をもって国会へ、直ぐに対応できるものもあると思うが、明日から又忙しくなる。

4月20日

両院議員総会終了後、国会内の歯医者さんへ、1

最上小国川の治水対策



時間以上もかけた治療、麻酔注射をうたれ、本会議中麻酔がきれ痛みがひどく参った。当分歯医者さんと仲良くしなければならない。昨日の課題は対応できずに終わる。当分日記帳形式から課題、情報、整理で更新していく事にする。

① 宮崎県都農町の繁殖牛農家から口蹄疫類似患畜が確認される。国内では「口蹄疫」の発生は平成12以降確認されていないが、・・・農林水産常任委員として農水省に状況確認し感染広がる状況はないとの応えであるが、農家の家畜はすべて処分されるだろうし、地域も不安だろうし心配である。

② 2月27日にチリ地震で大きな被害を被った、岩手、宮城の漁業、視察団長として岩手県宮古市の被害状況を踏まえ社民党として申し入れしてきた「激甚災害指定」が今日閣議決定された。岩手県、宮城県に報告する。

③ 今日の本会議で「地球温暖化対策基本法案」が上程され、自民党より「低炭素社会づくり推進基本法案」公明党から「気候変動対策推進基本法案」2本が対案として出され今日から審議始まる。この前より事業仕訳で中島委員にかわり私が担当する事になっているが、前回は質問させていただいたが今回も23日と27日の2日間30分づつの質問、理事会で決まる。質問されて頂く事は有り難いが、22日は青少年問題特別委員会で30分質問決まっております質問内容原稿整理大変である。

④ 5月提出期限の政治資金管理団体報告書の「まとめ」を急ぐ。国会内と地元事務所の経理を一緒にして報告書をつくる。明日以降上野秘書から領収書点検も含めてまとめてもらうようお願いする。「政治

とカネ」問題、私の資金管理団体は寄付金も少額であり問題はないが、公認会計士より監査があるため整理に時間を要す。

4月21日

今日もあのいやな「キーン」脳で聞いてきました。明日は聞かなくとも良いそうです。秘書2人と夕食懇談して、今宿舎につく。今日の整理は



① 3回目の党首討論、3回とも政治のトップ討論には「しらけ鳥飛んでいるよう・・・」国民の多くはそう思ったのではないか。我が社民党もしっかりしなければならないが、これでは「生活再建」「暮らし優先」と叫んでも、ドンドン政治が遠のいていく感じ

② 「柘添よ、おまえもか。」何をやりたいのか。そんなに人気があると思っているのか。どうだろうか。重大な決意をし、「自分の考えと違う」「人間関係がうまくいかない」といって会社を辞め、やりたいことを求めて事業を起し、あえて茨の道を歩んでいる人、転々と職を変える人、しかし議員は・・・離党し又戻り合流したり勝手としか言えない。きれいごとと言うが国民は置き去り・・・

③ HPの充実に向けて映像のM氏、上野秘書と相談。HP、ツイッター、グリーと取り組んでいるが「つれづれ日記」変更と写真掲載、映像館追加、政策課題立ち上げする事を確認し来週から新しくする。

④ 住民から相談されている「公園」建設、課長から返答来るが、市としては進めたいが、県用地などまだ了解取れていない。函面送ってもらう。後日お邪魔し話し合う事する。相談受けた T さんに連絡する。

⑤ 日ロ協会から 9 月訪ロの誘いを受ける。地元酒田港が取扱い量伸びない為、重要港湾指定から外される動きがある中で、ロシア極東地域との経済交流は地域課題でもある。5 月連休に山形県知事もモスクワ訪問も決まっておき、経済交流を盛り込んだ日程に出来ないか早急に検討願います。

4 月 22 日



8 時 50 分から青少年特別委員会理事会、青少年特別委員会参考人質疑で 30 分質問、

農林水産委員会理事会、農林水産委員会、代議士会、本会議、環境委員会明日の質問通告、産業廃棄物法意見交換、明日の労働組合懇談会打ち合わせ・・・無事こなす、顧問引き受けている(株)幸輪社長と夕食懇談 青少年特別委員会質疑は映像館にアップするのでしばらく待つてほしい。パソコン HP 書き込みできず。コメントに返せず。明日に伸ばすしかない。

4 月 23 日

パソコン気になるが、時間なし、私が担当の社民党支持労組懇談会朝 7 時半から、急な呼びかけにも関わらず多くの委

員長はじめ役員が出席して頂いた。福島党首も 8 時から閣僚会議開催の前に出席、社民党 3 役全員出席、環境委員会理事会、委員会開催されるので開会挨拶後、座長を又市副党首にお願いし退席させて頂く。「地球温暖化対策基本法」今日から本格審議である。自民党案、公明党案も出せれ 3 法案一括審議である。重要法案であるし、又経済産業省との連合審査もあり、運営を巡って理事会は朝、昼、終了後連続開催される。最終便で帰省

① 政治とカネ、鳩山総理、金の流れを裁判が終り押収された資料返還されれば、明らかにすると言ったのに、後退した態度になる。小沢幹事長、石川、小林議員とそのまま在籍、国民が納得される説明を求め、社民党動きを見せなければならぬ。

② 重要法案目白押しであるが、「高速料金」で又、政権ゴタゴタ。

③ 「地球温暖化対策基本法」化石燃料に依存してきた私達、しかし今、「持続可能な社会」に向けて大きく転換するこの法案、30 分質問する、内容映像館にアップするまで時間を借りる。

④ 宮崎県の口蹄疫感染牛 感染の疑いある牛広がり 6 件目出てくる。既に 2 農場のすべての牛を殺処分し焼却済み、2 農場のすべての牛が殺処分、5 件目と 6 件目発覚した農場の牛、検査、処分検討中である。1 日も早く原因究明しなければ動揺が広がるばかりである。



4 月 24 日

自宅から 8 時半行動開始。午前中企業訪問、昨日連絡していたので、土曜日で休みなのに社長出勤して頂き意見交換。予定の 3 社訪問し昼からは地元病院の友の会総会に出席、5 月から始まる「国政報告会」。打ち合わせ会、終了後パソコン修理後、来春県議選候補者擁立について協議、今日の整理

① 脱化石燃料、低炭素社会に向けての意見交換、各社とも前向き、具体的に製造立ち上げるまでは、定期的な意見交換続ける。

② すでに事業計画できておる案件、5 月中に申請予定、事業採択に向けて共に汗かく。

③ 早く、もう来年で 20 周年を迎える地元病院、順調に来ているが課題もある。医療制度について病院側から今後とも問題提起して頂く

④ 150 名規模の「国政報告会」を後援会作りながら開催する。しかも日曜日夜である。案内文、チケット作りもこれからである。

⑤ 政治の道、議員の道で生きていく決意、並たいていな決意でないと乗り越えなければならない課題があまりにも多い。しかし、粘り強くお願いするしかないのである。

4 月 25 日

春季消防演習開催時間ほぼ同じで、鮭川村、戸沢村、大蔵村 3 箇所から案内頂き、晃が大蔵、高橋満氏が戸沢と 3 人で任務分担し 7 時で出発する。鮭川村消防

演習に出席し挨拶した後、(株)やすらぎ福祉センター訪問し意見交換。センターで晃、高橋氏と合流し真室川町「梅まつり」に参加する。地元の匠工役員と意見交換 今日の整理

① 春季、秋季と 2 回の消防演習、岸参議員、地元県議顔を揃える。戸沢、大蔵にも出席したと代理出席した晃と高橋氏から報告受ける。



② 福祉施設 8 箇所、職員 100 人越えている。専務である J 氏は「お年寄りのケアーであると同時に地域のケアーでもある。」と話す。NPO も立ち上げ地域づくりに奔走している。「地域主権」に向けた勉強会を一緒に企画する事を提案する。

③ 民謡「真室川音頭」の発祥地真室川町は「梅」を前面に出して産業、地域おこしに努力している。祭りは快晴の元で開催されたが、「梅」まだ咲かず、初めての参加であったが、支援いただいている人たちと交流できたし、3 区から出ている衆議員が揃う祭りなのに欠席し、メッセージだけでは失礼になる。これから自分が欠席しても必ず代理出席するよう手配しなければと強く感じた。



④ 低炭素社会に向けて「コンクリートから人へ」言葉だけでなく実践、国産材をフルに使用した住宅はじめとする建築その技術を引き継ぐ後継者、どう育成していくのか問われている。